

白居易の諷諭詩について～新樂府50首から～

白居易の詩文集「白氏文集」は平安朝貴族必読の書であり、源氏物語や枕草子にも顔をのぞかせている。詩人自身が最も誇りにしていた分野が時の政治を諷諭した一群の詩である。詩人の代表的な諷諭詩「新樂府50首」の中から後半部を味わってみる。

●日程及びテーマ

回	月 日	テーマ	回	月 日	テーマ
第1回	5月18日(木)	杜陵叟	第5回	6月15日(木)	隋堤柳
第2回	5月25日(木)	李夫人	第6回	6月22日(木)	杏為梁
第3回	6月 1日(木)	陵園妾	第7回	6月29日(木)	陰山道
第4回	6月 8日(木)	井底引銀瓶	第8回	7月 6日(木)	采詩官

●講 師 野原 薫 滋賀文教短期大学 国文学科 非常勤講師
担当科目:王朝文学の世界・中古の文学ほか

●時 間 14:00～16:00

●定 員 20名

●会 場 滋賀文教短期大学 実習館1階 湖国カルチャーセンター

●受講料 6,500円

*テキスト(訓点を付けた原文、書き下し文、口語訳)は当カルチャーセンターでプリントを準備します。

●申込方法 はがき又はFAXにて

①講座名 ②氏名(フリガナ) ③性別 ④郵便番号 ⑤住所 ⑥電話番号
を明記してください。*お電話での申込受付は行っておりません。

●申込締切日 5月11日(木)

